

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	灰 色 か び 病	菌 核 病	萎 黄 病	黒 斑 病	芽 枯 病	疫 病	炭 疽 病	う ど ん こ 病	輪 斑 病	じ や の め 病	角 斑 細 菌 病	黒 腐 病
サフオイル乳	NC		1	-								◎				
I Cボルドー66DFL	M1		-	-							◎					
コサイド3000DF	M1		-	-							◎				◎	
イオウFL	M2		*i	-								◎				
			*k	-								◎				
クムラス顆水	M2		-	-							◎					
ボトピカ水	BM2		*k	-							◎					
トップジンM水	1		*s				◎									
			*c	3			◎									
			*h									◎				
ベンレート水	1		*d	1			◎				◎					
			*j	3			◎				◎					
			*s	1				◎				◎				
アフエットFL	7		1	3	◎						◎	◎				
カンタスDF	7		1	3	◎											
ケンジャFL	7		1	3	◎						◎					
パレード20FL	7		1	3	◎						◎					
アミスター20FL	11		1	*n	◎						◎	◎				
スクレアFL	11		1	3		◎					◎					
ストロビーFL	11		1	3							◎					
ファンタジスタ顆水	11		1	3	◎						◎					
オラクル顆水	21		*j	3						◎						
ランマンFL	21		*j	2						◎						
			*p	2						◎						
フロンサイドSC	29		*j	1						◎						
フルピカFL	9		1	3	◎						◎					
セイビアーFL20	12		1	3	◎						◎				◎	
スマレックス水	2		1	3	◎	◎										
ロブラール500アクアFL	2		1	4	◎											
ロブラール水	2		1	4	◎	◎		◎								
サブロール乳	3		1	5							◎					
サンリット水	3		1	3							◎	◎				
スコア顆水	3		1	3							◎					
トリフミン水	3		1	5							◎	◎	◎			

イチゴ

# イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

イチゴ

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	灰 色 か び 病	菌 核 病	萎 黄 病	黒 斑 病	芽 枯 病	疫 病	炭 疽 病	う ど ん こ 病	輪 斑 病	じ や の め 病	角 斑 細 菌 病	黒 腐 病
ラリー乳	3		1	3								◎				
ポリオキシシンAL溶	19		*q	3	◎							◎				
レーバスFL	40		*f	2						◎						
			*j	2						◎						
キノンドーFL	M1		*j	3							◎					
サンヨール乳	M1		1	6	◎							◎				
			*b	1								◎				
アントラコール顆水	M3		*a	6							◎					
ジマンダイセン水	M3		*L	6							◎			◎		
ペンコゼブ水	M3		*L	6							◎					
オーソサイド水80	M4		*q	3	◎				◎		◎					
ベルクートFL	M7		*m	5							◎	◎	◎			
			*f	5	◎			◎			◎	◎				
デランFL	M9	劇	*j	2							◎					
モレストアン水	M10			1	2							◎				
エコピタ液	-			1	-							◎				
ユニフォーム粒	4・11		*e	1							◎					
リドミルゴールドMZ顆水	4・M3		*j	3							◎					
ゲッター水	1・10		*h	3							◎					
ニマイパー水	1・10			1	3	◎					◎					
シグナムWDG	7・11			1	2	◎					◎	◎				
ピカットFL	7・9			1	3	◎		◎				◎				
ファンベル顆水	11・M7			1	3	◎					◎	◎				
ショウチノスケFL	9・U13			1	2	◎						◎				
ジャストミート顆水	12・17			1	3	◎										
パンチョTF顆水	3・U6			1	2							◎				
ダイアメリットDF	19・M7		*m	1								◎				
			*q	3								◎				

\*a: 仮植栽培期 \*b: 定植前 \*c: 仮植時及び仮植栽培期 \*d: 本圃定植後(但し収穫30日前)  
 \*e: 定植時 \*f: 収穫前日まで(生育期) \*g: 育苗期～収穫前日 \*h: 収穫開始21日前まで  
 \*i: 親株床初期 \*j: 育苗期 \*k: 発病前～発病初期  
 \*L: 仮植栽培期 (但し収穫76日前まで) \*m: 育苗期 (定植前)  
 \*n: 苗床4回以内、本圃3回以内 \*p: 生育期(但し収穫30日前まで)  
 \*q: 収穫開始14日前まで \*s: 仮植前

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使 用 回 数	ア ザ ミ ウ マ	ア ブ ラ ム シ	コ ナ ジ ラ ミ	ク ロ バ ネ キ ノ コ バ エ	オ オ タ バ コ	ヨ ト ウ ム	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ	コ ガ ネ ム シ	シ ク ラ メ ン ホ コ リ ダ ニ	チ ャ ノ ホ コ リ ダ ニ	ハ ダ ニ	ネ グ サ レ セ ン チ ュ ウ	ナ メ ク ジ
除虫菊乳3	3A		1	5		◎												
スピノエース顆水	5		1	2	◎													
コロマイト水	6		1	2										◎		◎		
コロマイト乳	6	*e	2													◎		
アタックオイル	UNM	-	-													◎		
スプレーオイル	UNM	-	-													◎		
トモノールS	UNM	-	-	1												◎		
ハーベストオイル	UNM	-	-													◎		
ラビサンスプレー	UNM	-	-													◎		
サフオイル乳	-	*g	-													◎		
カルホス微粒F	1B	劇	*b	1		◎	◎								◎			
スミチオン乳	1B		1	2		◎							幼					
ダイアジノンSL ゾル	1B	*b *g *f	1										幼 幼 幼					
ダイアジノン粒5	1B	*b *a	1										幼 幼					
ネマキック粒	1B	*g	1															◎
ネマトリンエース粒	1B	*g	1													◎	◎	
マラソン乳	1B		3	5	カ	◎										◎		
アーデント水	3A		1	4	カ	◎										◎		
アディオソ乳	3A		1	5		◎												
ガードバイトA粒	3A	*c	5									◎						
フォース粒	3A	劇	*b *a	1									幼					
マブリック水20	3A	劇	1	2		◎												
アクタラ粒5	4A		*a	2		◎												
アドマイヤー1粒	4A		*a *d	1		◎												
アルバリン粒	4A		*a	1		フ												
スタークル粒	4A		*a	1		◎												
ダントツ粒	4A		*a	1		◎												
バリアード顆水	4A	劇	1	3		◎	◎											
ベストガード溶	4A		1	3		◎	◎		チ									
ベストガード粒	4A		*a	1		◎			チ									
モスピラン顆溶	4A	劇	1	2	◎	◎	◎		チ									
モスピラン粒	4A		*a *h	1		◎	◎						幼					
トランスフォームFL	4C		1	3		◎	◎											

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (回数)	使用 回数	ア ザ ミ ウ マ	ア ブ ラ ム シ	コ ナ ジ ラ ミ	ク ロ バ ネ キ ノ コ バ エ	オ オ タ バ コ ガ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ	コ ガ ネ ム シ	シ ク ラ メ ン ホ コ リ ダ ニ	チ ャ ノ ホ コ リ ダ ニ	ハ ダ ニ	ネ グ サ レ セ ン チ ユ ウ	ナ メ ク ジ
ディアナSC	5		1	2	◎		◎	◎			◎							
アグリメック乳	6	劇	*m *n	2												◎	◎	
アニキ乳	6		1	3					◎		◎							
アフーム乳	6		1	2					◎	◎	◎					◎		
コルト顆水	9B		1	3		◎	◎											
チェス顆水	9B		1	3		◎	◎											
ニッソラン水	10A		1	2												◎		
バロックFL	10B		1	1												◎		
コテツFL	13	劇	1	2	カ						◎			◎		◎		
アタブロン乳	15		1	3	◎						◎							
カウンター乳	15		1	4	◎						◎							
カスケード乳	15		1	3	◎			◎			◎							
マッチ乳	15		1	4	◎						◎							
ファルコンFL	18		1	3					◎		◎							
マトリックFL	18		1	3							◎							
ロムダンFL	18		1	2							◎							
カネマイトFL	20B		1	1													◎	
マイトコーネFL	20D		1	2													◎	
サンマイトFL	21A	劇	*i	1		フ	◎						◎	◎	◎	◎	◎	
ダニトロンFL	21A		1	1												◎	◎	
ハチハチFL	21A	劇	*L	1	◎	◎		◎								◎		
マイトクリーン水	21A		1	1													◎	
トルネードエースDF	22A		1	2					◎		◎							
アクセルベイト粒	22B		1	3							◎							
モベントFL	23		*k 1	1 3	灌	灌	灌										灌	
スターマイトFL	25A		1	2	◎	◎	◎							◎		◎		
ダニサラバFL	25A		1	2													◎	
ダニコングFL	25B		1	1													◎	
フェニックス顆水	28		1	2					◎		◎							
ブレバゾンFL5	28		1	2							◎							
ベネビアOD	28		1	3	◎	◎	◎				◎							
ベリマークSC	28	*k	1	3	灌	灌	灌				灌		灌					
ヨーバルFL	28		1	2				◎	◎		◎							
ウララDF	29		1	2		◎	◎											
グレースシア乳	30		1	2	◎				◎		◎						◎	
ダニオーテFL	33		1	2													◎	
ファインセーブFL	34	劇	1	3	◎													
ブレオFL	UN		1	4					◎		◎							

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	アザミウマ	アブラムシ	コナジラミ	クロバネキノコバエ	オオタバコ	ヨトウム	ハスモンヨトウ	ネキリムシ	コガネムシ	シクラメンホコリダニ	チャノホコリダニ	ハダニ	ネグサレセンチュウ	ナメクジ	
					類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
エコピタ液	-		*g 1	-		◎	◎												
オレート液	-		*j	-		◎	◎												
サンヨール乳	-		1	6		◎													
サンヨール液AL	-		1	6		◎													
ナメトックスハウス	-		*h	6															◎
ピタイチ乳	-		1	-	◎	◎													
ダブルシューターSE	5	-	1	2	◎		◎												

\*a:定植時 \*b:植付時(仮植床) \*c:生育初期 \*d:育苗期後半 \*e:仮植前まで

\*f:ポット育苗時 \*g:定植前 \*h:発生時

\*i:生育期(定植30日後まで)(但しマルチ被覆直前まで)

\*j:収穫開始3日前まで \*k:発生初期~収穫前日まで \*l:育苗期後半~定植当日

\*m:一番花の開花まで \*n:親株育成期 \*o:育苗期

カ:ミカンキイロアザミウマ

チ:チバクロバネキノコバエ(チバクロバネキノコバエ)

ワ:ワタアブラムシ

親:親株床 浸:苗浸漬 幼:幼虫 灌:灌注処理での登録

イチゴ

## イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発生消長		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害	早熟 露地 (春植え)					—	—						
	灰色かび病				—	—	—						
	促成	—	—	—	—	—	—						
	灰色かび病 うどんこ病				—	—	—						
虫害	アブラムシ類			—	—	—	—				—	—	
	ハダニ類					—	—						
	チャノキイロ アザミウマ					—	—				—	—	

作 型 — ; 栽培期 — ; 収穫期  
 病害虫発生消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 敷わら又はマルチを行う。</li> <li>2. 密植を避け多湿に注意する。</li> <li>3. 施設やトンネル栽培では換気をよくする。</li> <li>4. 発生を認めたら次の薬剤のいずれかを散布する。                      ジャストミート顆粒水和剤 2000～3000倍                      セイビアーフロアブル20 1000～1500倍                      ダイマジン(水) 2000倍                      フルピカフロアブル● 2000～3000倍                      ポリオキシシAL水溶剤● 5000倍                      ロブラール水和剤● 1500倍</li> <li>5. 施設栽培では、くん煙剤により予防する。◇</li> <li>6. 発病前から次の薬剤のダクト内投入を行う。                      ボトキラー水和剤* 10～15g/10a/日</li> </ol>	被害果や被害葉は伝染源となるので早めに処分する。  ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。  ◇くん煙剤の項参照  *野菜類での登録
萎黄病	仮植前	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健全苗を用いる。</li> <li>2. 次の薬剤のいずれかで根部浸漬を行う。                      トップジンM水和剤 300～500倍 1時間                      ベンレート水和剤 500倍 1～3時間</li> </ol>	

## イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(萎黄病)	育苗期	1. 発病株は早めに処分する。 2. 次のいずれかの薬剤を灌注する。 トップジンM水和剤# 300~500倍 3ℓ/㎡ ベンレート水和剤 500倍 50~100ml/株	# 仮植時および仮植栽培期
芽枯病	定植時	・密植、深植を避け、健全苗を用いる。	本病はリゾクトニア菌による。
	生育期	・発生を認めたら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 800倍	
炭疽病	定植時	・密植、深植を避け、健全苗を用いる。	病原菌はシクラメン、ペゴニア、シンビジウムにも炭そ病をおこす。  # 育苗期  ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 発生を認めたら、次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 オーソサイド水和剤80 800倍 キノンドーフロアブル# 500~800倍 ゲッター水和剤● 1000倍 デランフロアブル# 1000倍 ベルクトフロアブル# 1000倍	
うどんこ病	育苗中 ~本畑	1. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 1500~2000倍 イオウフロアブル# 2000倍 ストロビーフロアブル● 3000~5000倍 トリフミン水和剤● 3000~5000倍 パンチョTF顆粒水和剤● 2000倍 フルピカフロアブル 2000~3000倍 ポリオキシシナL水溶剤 5000倍 モレスタン水和剤△ 3000~4000倍 2. 施設栽培ではくん煙剤により予防する(くん煙剤の項参照)。	薬剤は葉の表裏に十分かかるように散布する。 親株床や仮植床での防除を徹底する。蔓延すると防除は困難になるので、初期の防除を心がける。  ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 # 親株床初期の場合は、500~1000倍。 △モレスタンは高温時に散布すると薬害を生じやすい。
アブラムシ類	定植時	・次の薬剤を植穴に施用し土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 0.5g/株	

## イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(アブラムシ類)	生育期	1. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000~4000倍 チェス顆粒水和剤 5000倍 2. 施設ではくん煙剤により予防する(くん煙剤の項参照)。	
オオタバコガ	生育期	1. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000~4000倍 プレオフロアブル 1000倍	
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 チェス顆粒水和剤 5000倍 バリアード顆粒水和剤 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
アザミウマ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000倍 ディアナSC 2500~5000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
ハスモンヨトウ	生育期	・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アタプロン乳剤 2000倍 アフーム乳剤 2000倍 エコマスターBT* 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 サブリーナフロアブル* 500~750倍 フェニックス顆粒水和剤 2000~4000倍 プレバゾンフロアブル5 2000倍	*野菜類での登録
コガネムシ類(幼虫)	仮植床	・仮植床植付時に次の薬剤のいずれかを土壌混和する。 ダイアジノン粒剤5 4~6kg/10 a フォース粒剤 6 kg/10 a	ドウガネブイブイ、ヒメコガネ、アカビロウドコガネの幼虫が根部や根冠部を被害する。

## イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハダニ類	生育期	<p>・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>カネマイトフロアブル 1000～1500倍</p> <p>スターマイトフロアブル 2000倍</p> <p>ダニサラバフロアブル 1000倍</p> <p>ダニトロンフロアブル☆ 1000～2000倍</p> <p>ニッソラン水和剤 2000～3000倍</p> <p>バロックフロアブル☆ 2000倍</p> <p>マイトコーネフロアブル 1000倍</p>	<p>☆ミツバチに影響の少ない薬剤</p> <p>天敵昆虫農薬(施設栽培):スパイデックス、スパイカルEX、ミヤコバンカー等</p>
イチゴメセンチュウ	定植前	<p>1. 健全な親株から苗を取る。</p> <p>2. 被害苗、被害株は抜き取る。</p>	<p>成長点付近に寄生し、ランナーで伝播する。</p>
ネグサレセンチュウ	定植前	<p>1. 定植前に土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。</p> <p>2. 次の薬剤のいずれかを全面土壌混和する。</p> <p>ネマキック粒剤 15～20kg/10 a</p> <p>ネマトリンエース粒剤 20～25kg/10 a</p>	
その他の病害虫		ナメクジ	